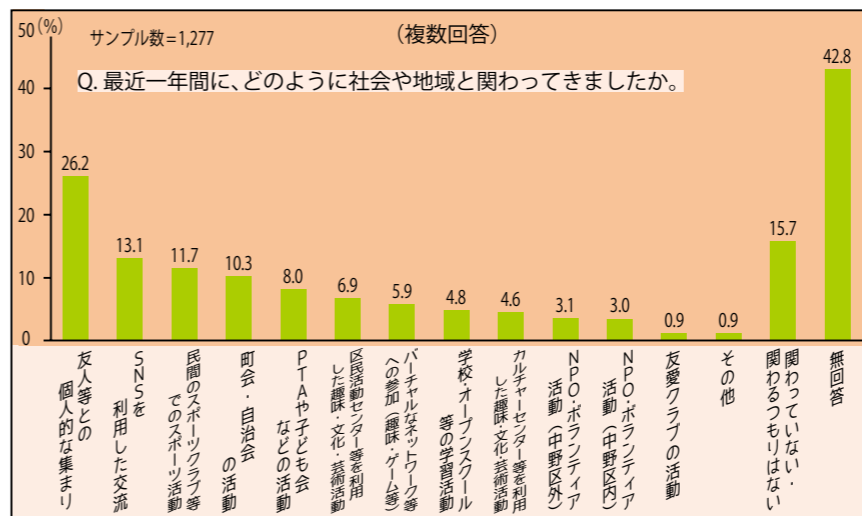


## 地域のかかわり

現代社会はグローバル化によってインターネットやSNSでのつながりが増えているが、その一方で人の直接的なつながりが少なくなってきたことも事実だ。最近一年間の社会や地域とのかかわりについての調査結果(下図)では、「関わっていない・関わるつもりはない」が次点で15.7%となっている。社会的孤立などの言葉が囁かれる中、中野区では地域支えあい推進室のもと、町会・自治会や、民生・児童委員、NPO団体などを中心に様々な活動が展開されている。今回は、地域で支え合うことを目的とした活動を行っている人々について取り上げる。



▲中野区区民意識・実態調査(社会や地域との関わり): 2015年調査(概要版)

## みやももカフェ

「自由におしゃべりしてつくる場所」として宮桃町会が運営している。毎月第1木曜日に20人程度の参加者があり、話題は集まる人によって様々。

12月に取材した際には、カラオケや健康体操、ハーブティー講座が行われており、健康のために行っていることや食べているものの話題などが飛び交っていた。

参加者の声を紹介する。「ここに来るのは時々よ。そんなに意識してきてるわけじゃないけど、人と話すのは楽しいことよね。」

「毎回参加している。ここに来ると新しい人との出会いがあって、その人ごとに話題を考えることで脳を使うから健康につながる。新しい人と出会う、その人のいいところを吸収していくことで、いくつになっても自分も成長することができる。」

宮桃町会の中山会長は「この設立の話が出たのは5年前になります。他の自治体が超高齢社会に対してどのように対応しているか見ながら、居心地のいい場所となるように作っ

てきました。ここに来てくれるのは健康に自ら気をつけている元気な方々が多い。自宅で人と交流することなく過ごしている人たちにもどんどん来てもらえるように今後も働きかけていきたいんです。」と、穏やかな笑顔を見せてくれた。このような活動をしている場所は中野区社会福祉協議会の「まちなかサロン」が39か所、その他にもみやももカフェのように各町会や自治会が自主的に開催している場所もある。最寄りのサロンについては、中野区社会福祉協議会のホームページや、各町に立てられている掲示板(お知らせ板・区民のひろば)などで確認していただきたい。



▲みやももカフェ 健康体操の様子(2016年12月撮影)

## 夢発見! 草っパラダイス

「中野区放課後子ども教室推進事業」の一環として、第1〜第3水曜日の午後に木工作やベーゴマなどで遊び、第4日曜日に野外料理を行っている。今回お邪魔したのは11月27日の日曜日、月に一回の野外料理の日だった。これまでバームクーヘンを作ったり流しそうめんを行うなど様々な催しがあり、この日はシチューを作った。プレーリー

ダーとして地域住民が子どもが

遊ぶ場づくりのサポートをしているため草っぱらでも安心して火を扱うことができる。とはいえ、大人が全て遊ぶ環境を提供するわけではない。「自分の責任で自由に遊ぶ」というきまりを書いた旗を毎回掲げており、子どもが自ら思いっきり楽しむという目的であることを明確にしている。毎回40人くらいの大人も子どもも参加して、自由に屋外での遊びを楽しんでいる。交通が発達し通信方法にも困



▲夢発見! 草っパラダイスで遊ぶ子ども達(2016年11月撮影)



みやももカフェ 誕生日のお祝い(2016年12月撮影)

## information

- ・社会福祉法人 中野区社会福祉協議会 まちなかサロン  
http://www.nakanoshakyo.com/service/salon/  
☎03-5380-0751
- ・宮桃町会(みやももカフェ)  
http://miyamomochokai.jimdo.com/
- ・中野区 放課後子ども教室一覧  
http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/175131/d010752.html
- ・夢発見! 草っパラダイスのブログ  
http://kusapparanakano.blog.fc2.com/

## 参考文献

- ・『2015 中野区区民意識・実態調査(概要版)』中野区政策室企画分野政策情報担当/編 中野区 2016 所蔵:全館
- ・『社会的孤立問題への挑戦 分析の視座と福祉実践』河合克義/編著 法律文化社 2013 所蔵:中央・野方・南台
- ・『日本を再生! ご近所の公共哲学』小川仁志/著 技術評論社 2011 所蔵:南台